

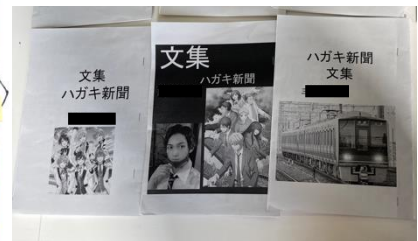
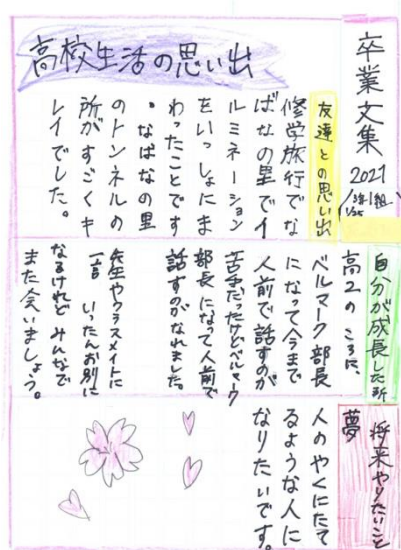
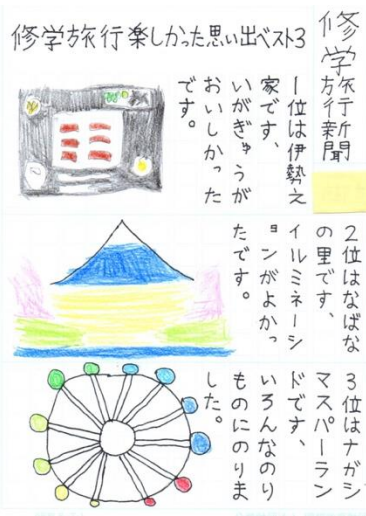
タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ハガキ新聞を書こう	高	合科 3年Iグループ (国語)	大西 志真

<ねらい>

- 経験したことを、自分なりの言葉で書くことができる。
- 読む人にわかりやすく書くことができる。
- 書いたハガキを発表し、友達の書いたものにも興味を持つことができる。

<内容>

- 作文用紙ではなく、ハガキサイズの新聞風のものを使用。作文用紙だと難しい生徒でも、この形だと字数のきまりもなく、書くことができた。
- 文章だけでなく、イラストも入れたり、カラーをつけたりし、読みやすいようにする。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）>

- 年に数回取り組み、その度に廊下に掲示を行なったことで、後半には「貼るの?」と生徒から声上がり、読んでもらえる、という思いからより丁寧に書こうとする姿が見られた。
- 年の最後には、表紙アプリケーションを使って作成し、今まで書いたものを冊子にしたことで今まで自分の書いたものを振り返ることができた。